

有馬温泉での観光と宿泊に関するアンケート

大阪商業大学 総合経営学部 商学科 宮城ゼミナール 田淵勇輝 西田直登 藤田麻衣 西村有貴

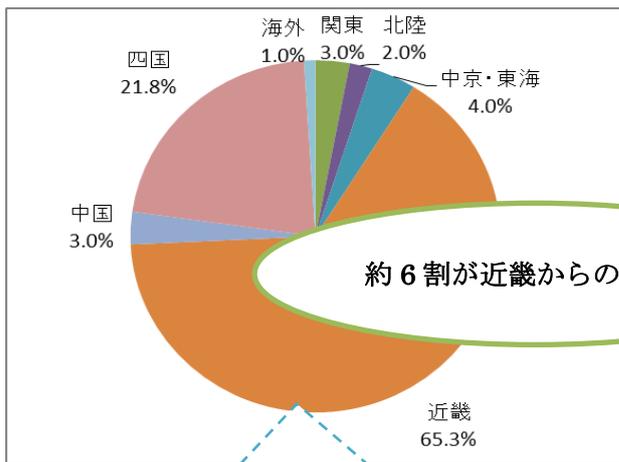
調査目的

温泉地として有名である有馬温泉において観光客の動向調査をおこない現状を把握し、観光客に有馬温泉の魅力を発信していくための第一歩の基礎調査として、12月15日に観光客101名を対象に年齢、性別、消費金額、満足度などを有馬温泉周辺で実施した。

有馬温泉とは

兵庫県神戸市に在り、日本最古の温泉で豊臣秀吉が愛した湯としても有名な温泉地であり、兵庫県では城崎温泉に次いで2番目に人気の温泉地である。近年では年間150万人程の観光客が訪れており、さらなる観光客の集客も期待できる。

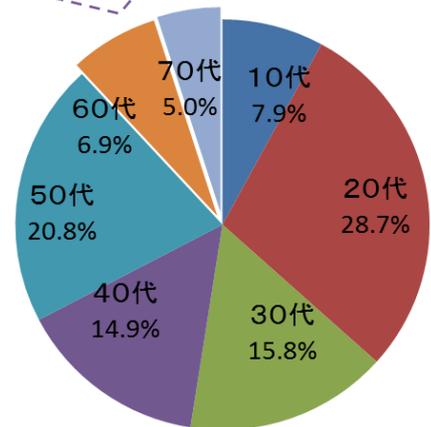
有馬温泉でのアンケートの調査結果



約6割が近畿からの観光客

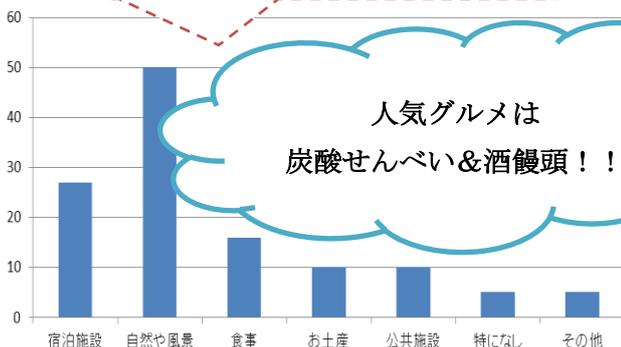
近畿からの観光客が全体の約6割を占めており、九州や東北の遠方からの観光客が一人もいなかった。その為、日帰りや一泊のみの観光客が多く、宿泊費で多くの利益を出すことが難しい。

20代～50代はあまり大きなバラつきがなく観光客が来ているのが分かった。しかし、60代や70代の観光客が少なく、特に60代以上の男性の割合が非常に少ない。



温泉街ならではの**風景や街並み**、**宿泊施設**や**食事**などの満足度が高い。

不満な点があったと答えたのは全体の約2割であり大変満足度が高いことが分かった。



人気グルメは
炭酸せんべい&酒饅頭！！

今後の課題

本調査で近畿地方からの観光客が多い為、2泊以上宿泊する観光客が少ないことが分かった。また、観光客の8割が不満は特にないと答え、満足度がとても高いことが分かり、反対に不満があると答えた観光客は、駐車場や公衆トイレ、ゴミ箱が少ないなど周辺施設に多く不満を持っていること、そして60代以上の男性観光客の割合が非常に少ないことも分かった。

以上を今後の課題として、近畿地方以外からの観光客の増加や宿泊日数などを増やしていけるように有馬温泉の魅力を発信していくことを目標とし、今後も継続して有馬温泉の観光の調査を行っていきたい。